

河北町立北谷地小学校

学校運営協議会だより

令和5年3月14日(火)



来年度に向けての意見交換

2月21日(火)に、第2回学校運営協議会が開催されました。はじめに、「学校評価」の結果をもとにした今年度の教育活動報告と、来年度の教育課程編成と学校経営計画についての提案を行い、その後、来年度に向けての意見交換を行いました。

今年度は、「学び合いを充実させる」ことを目標に取り組んだ。この学び合い活動については、11月に、町教育委員会委嘱の公開研究会で発表し評価をいただいた。学び合いができるようになり、学級での人間関係づくりもよい方向に進んだ。アンケート結果で、「楽しく学校生活を送っている」が、A・B評価を合わせて100%であった。

来年度は、「深く学び合う」ことを目標に、学びの質を高めることを頑張りたい。特に「協働的に深く学び合う」「学びをデザインする」「谷地西部小との交流」に力を入れる。

「複式学級」(2学年を一つにした学級)

- ・北谷地小は、令和6年度に2、3年生が「複式学級」になる。谷地西部小は完全複式になっているので、複式学級の良さ、やり方を学ぶことができる。
- ・複式学級になったときは、片方は自分たちで勉強するので、「デザイン力」を持った子が指示するとすごく効果が上がる。
- ・今までは、知識を教え込んでいた。知識は、情報過多の中で、ちょっとスイッチを押せば出てくるので、そういう力ではなく、自分で解決していく力を身につける。何が課題か自分で探すことも必要である。
- ・区長会に参加の皆さんが、複式学級の問題をかなり心配していた。マイナスに考える人もたくさんいたが、プラス面もあることがわかった。
- ・勉強は少人数の方が良いが、集団でないと育たない力が問題である。同級生との関係、年上や年下との関係など、集団でないと育たない。
- ・少人数の学校の子は、中学校で馴染めない子が多いと感じる。保護者がマイナスに思っているところか。



「PTA役員を削減」(来年度はPTA数46軒)

- ・北谷地小のPTAは、児童数の減少、保護者の減少により、令和5年度から役員を減らすことにした。これまでは、研修広報部、健康安全部、環境整備部、母親委員会の4つだったが、健康安全部と環境整備部を合体して教育支援部とした。それに伴って、活動内容も減らす必要がある。例えば、「資源回収」は1回でいいのではないかという意見も出ている。
- ・児童のいない地区は、地区民でやっている。青年会や老人会など、協力体制がある地区は、やってくれるはず。
- ・区長さんに頼まないといけない。区長宛ての文書を出してもらえるといい。
- ・区長会長さんから、区長会に、学校の声話を話してもらいたい。互いにコミュニケーションをとって協力していけそうである。別々に考えていると、いずれは無くなってしまう。